

ヤングケアラーLINE相談窓口設置事業

N.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社
神戸 貴子

【会社概要】 訪問介護サービス

N.K.C

ナーシング コア コーポレーション
合同会社

創業 2014年 8月

従業員 13名

本社 鳥取県米子市

営業所 東京 大阪 横浜 名古屋 神戸 広島 長崎

準備室 札幌 群馬 福岡 岡山 松山

わたしの看護婦さん®



メディカル
ヘルパーステーション

ヤングケアラーとは

大人が担うような責任のある
家族のお世話をしている、
自らの生活や学業への影響を
受けている18歳未満の若者。



友人との交流が減る。学業不振。
遅刻や不登校。進学悩みを抱える。



ヤングケアラーはこんな子どもたちです

引用:一般社団法人日本ケアラー連盟



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



家族に代わり、
幼いきょうだいや知的障がいを抱える
きょうだいの世話を
している。



障がいや病気のある
家族に代わり、
買い物・料理・掃
除・洗濯などの家事
をしている。

鳥取県青少年育成意識調査(2021年)

「自分はヤングケアラーに当てはまる」

小5

7人/382人

1.8%

中2

8人/410人

2.0%

高2

13人/409人

3.2%

ヤングケアラー夜間休日相談窓口 概要 (第2期 2021年10月～)

■対応時間：毎日18時～23時

■実施期間：2021年10月25日～2月28日 (第2期)

■運営体制：常時1～2人体制/日

(スタッフ ・ ヤングケアラー経験の看護師
・ **潜在看護師、元ケアマネージャー**等)

■運営資金：令和3年度公民連携推進事業補助金

ヤングケアラー勉強会講師謝金

ヤングケアラー夜間休日相談窓口(2021年8月～12月)

LINE相談窓口 登録者数 88名

相談やり取り 30名

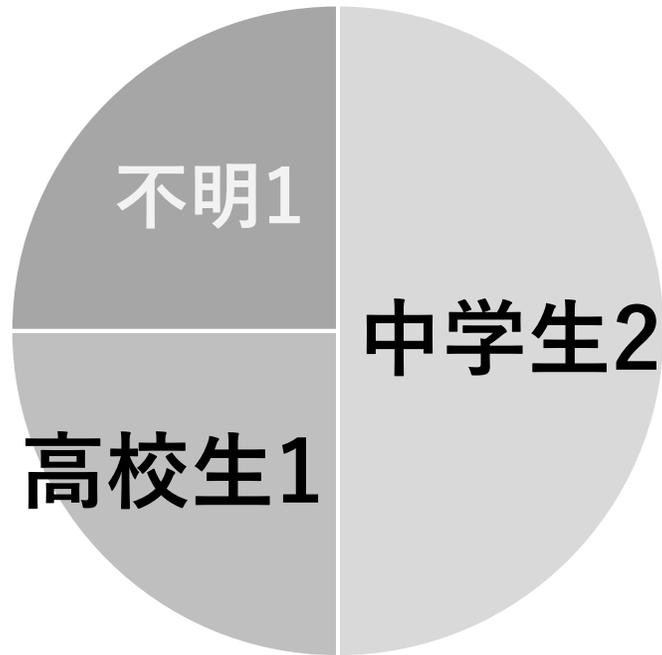
ヤングケアラー 夜間休日相談窓口(2021年8月～12月)

20時～23時に相談が集中する

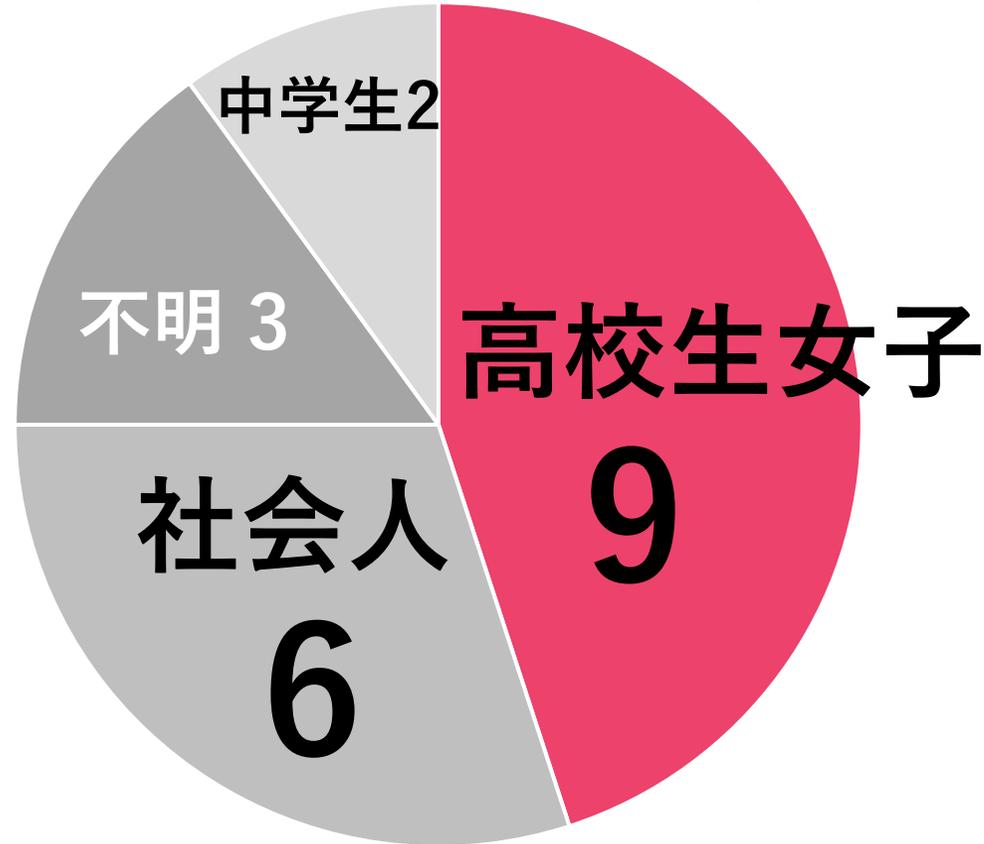
ヤングケアラー夜間休日相談窓口 (2021年8月～12月)

相談者内訳

男(4名)



女(20名)

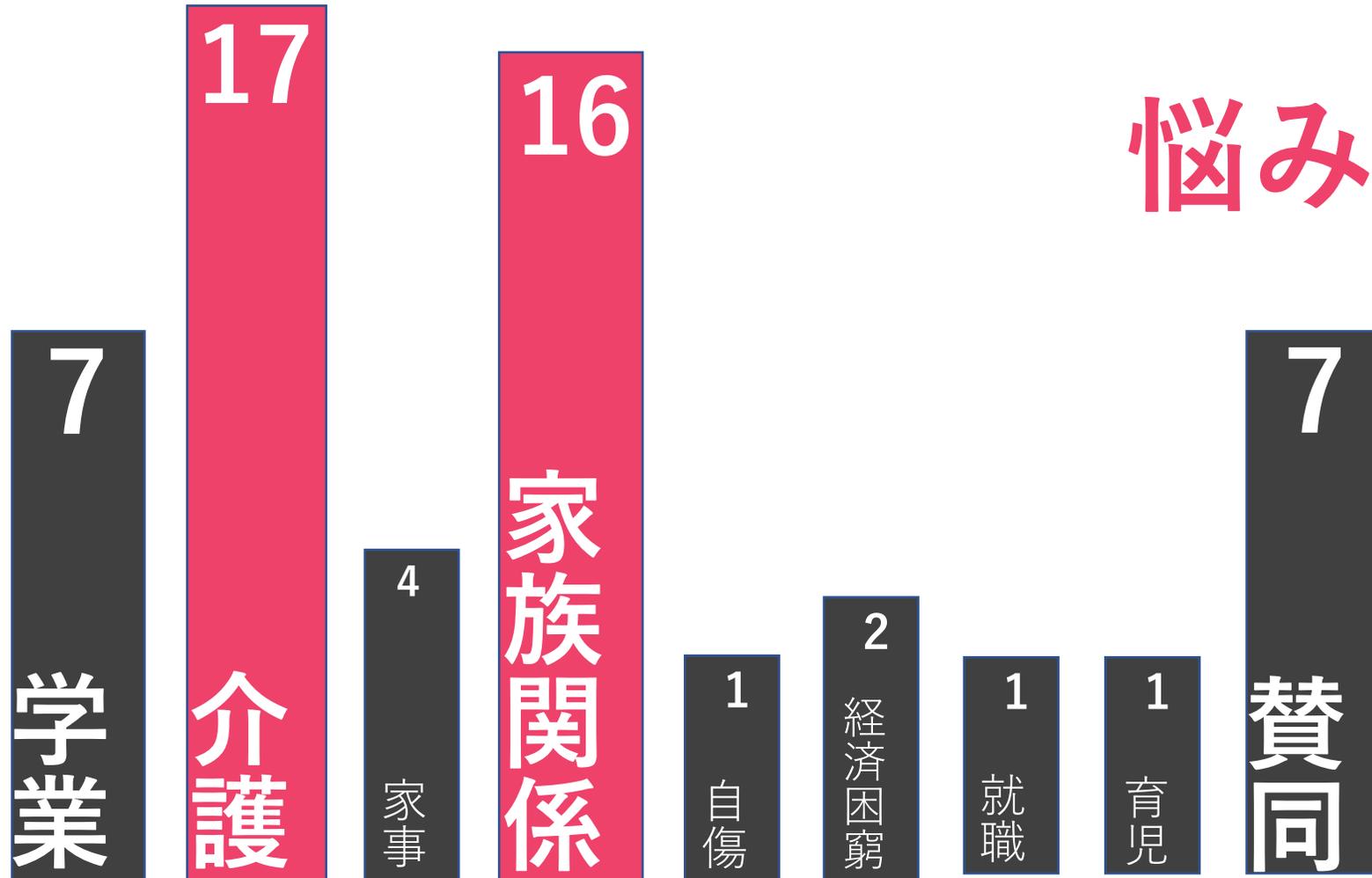


不明(6名)



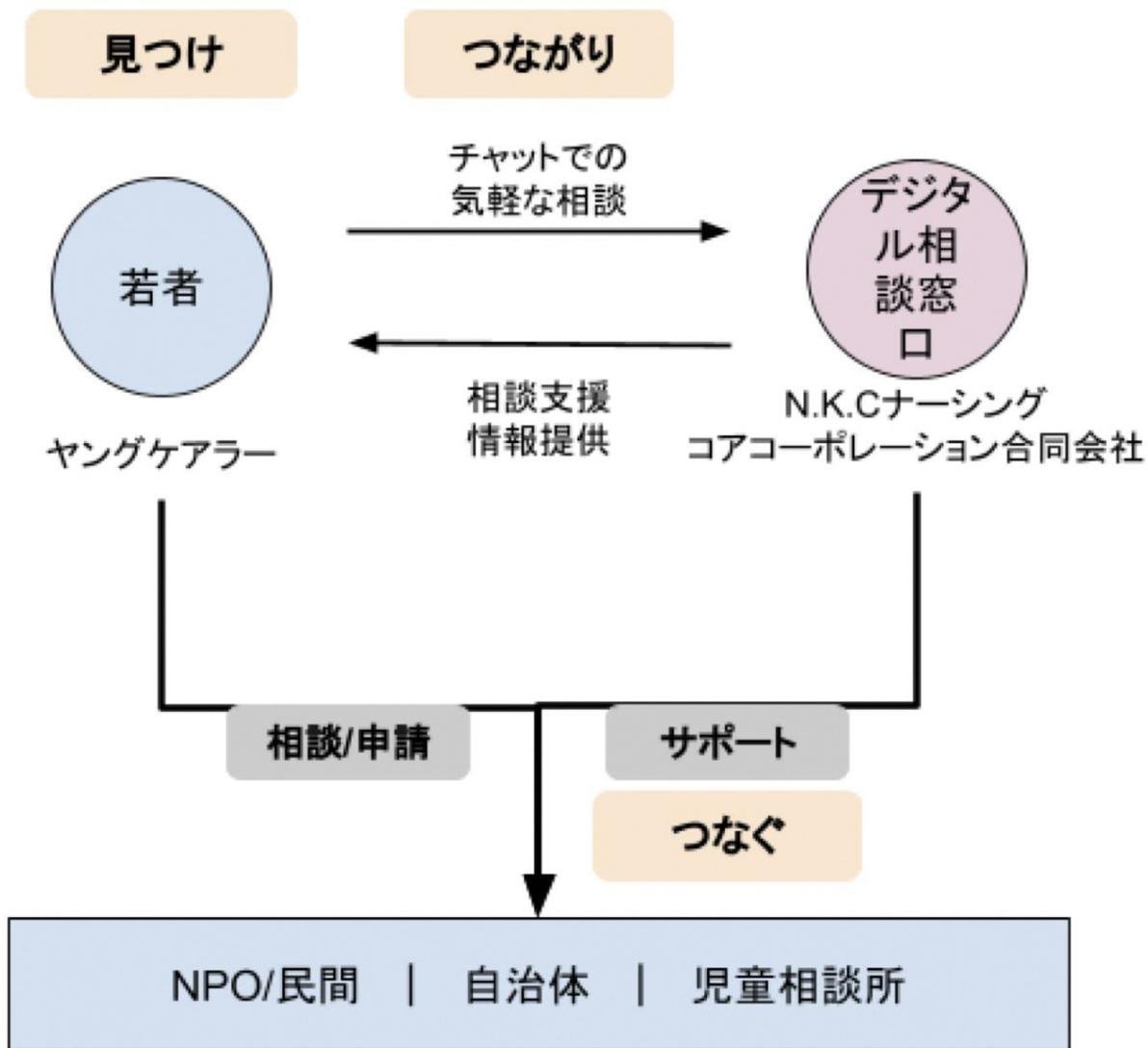
ヤングケアラー夜間休日相談窓口(2021年8月～9月)

相談内容内訳



悩みは複合的!!

ヤングケアラーLINE相談窓口の役割



ヤングケアラーは、その存在に気づき、「**見つける**」ことが**困難**だと指摘されています。

LINE相談窓口の活用により、**相談のハードルを下げる**ことで

若者を「**見つけ**」、チャットでの気軽な相談対応により関係を築き「**つながり**」、アセスメントをもとに、適切な機関や機会へ「**つなぐ**」。

勉強したいのにご飯作らなきゃ…

お手伝い偉いね、がんばれ！

うん、ありがとう…

その会話 S O Sかも しれません

相談してください、あなたの悩み 名乗る必要はありません

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものことをヤングケアラーと呼びます。

ヤングケアラーの6割は自分の悩みを相談したくてもできないと感じています。

米子児童相談所 ヤングケアラー相談窓口 TEL 0859-33-2020

平日 8:30~17:00 (土日・祝日を除く)

下記の期間でヤングケアラーLINE相談窓口が開設されています

期間 令和3年10月25日(月)~令和4年2月28日(月)

時間 18:00~23:00(土日・祝日を含む)

上記時間以外の相談は、対応時間内でLINEにてお返事します。
相談内容をあなたの許可なく、あなたが特定される形で誰かに伝えることはありません。



LINEQRコード

高校生が問題意識を持ち、 行動に繋がった!!!

米子児童相談所と相談しながら、
高校生がチラシを制作した。

校内で啓蒙活動を始めた。



地域にアクションを!

県の担当課と連携し、シンポジウム開催や県主催の対策会議で活動報告を行っている。

公民の繋がりをつくっている。



地域の大人たちが 問題意識を持ち始めた!

地元の児童福祉委員さんや
県外の子どもの支援団体から、
ヤングケアラーについて学び
たいと相談がある。

地域のおとなの啓蒙活動実施

相談窓口に寄せられるヤングケアラーたちの声 (若者ケアラー)

- ▼担任に相談するが、「若いうちは買ってでもしろ」と言われた。
- ▼導尿や摘便など、子どもがすることだと親に強制されている。
- ▼親同士や祖父母と親の折り合いが悪く、子どもが仲を取り持ちったり、八つ当たりされる。
- ▼経済的理由から、祖父母が高齢者施設に入所できないことや介護サービスが使えないことを心配している。
- ▼進学を諦め、家計を支えたい。

ヤングケアラー夜間休日相談窓口(2021年8月～12月)

地域の福祉課、民間・行政サービスを紹介した

12件

相談窓口継続設置に対するヤングケアラーたちの声 (若者ケアラー)

- ▼他人に相談できると思っていなかったなので、相談窓口で話を聞いてもらえて救われた。唯一の逃げ場として相談窓口を継続してほしい。
- ▼相談の仕方とか、細やかに伝えてもらえたら助かる。
- ▼介護や医療制度の話が難しすぎる。相談窓口で解説してもらえて、理解が進んだ。

ヤングケアラーの支援の課題

- ▼家族で解決しなければならないと思う家庭内や周囲の価値観
- ▼子ども自身が世話をすることを当たり前と感じている
- ▼ヤングケアラーの認知度の低さ
- ▼利用しやすい相談窓口がない
- ▼家族全員が利用しやすい公的生活サポートがない

ヤングケアラーLINE相談窓口設置事業

- ・子どもたちの人権を守る
- ・地域づくりの基礎になる